

秋らしい爽やかな日が続くこの頃、日中も大変過ごしやすくなってきました。スポーツや読書を楽しむのに適した時期ですし、実りの秋を楽しむ時期でもあります。

白木峰高原では、20万本のコスモスが満開だそうです。私たちも、秋を楽しむ「心のゆとり」を持ちたいと思っています。



多くを学んだ修学旅行(10月13日・14日)

3年ぶりに、6年生が県外への修学旅行に行ってきました。当日は朝から秋晴れとなり、見学にはもってこいの天気となりました。その旅程は次の通りです。

【1日目】

学校→吉野ヶ里歴史公園(弥生時代の遺跡や復元住居を見学)→大刀洗平和記念館(飛行場爆撃、特攻隊の話など、実物や映像などで見学)→阿蘇草千里ヶ浜→ホテル(阿蘇市)

【2日目】

あそもんツーリズム(6つのコースに分かれ、阿蘇の特色や特産を学びながら体験活動)→阿蘇ファームランド(昼食・おみやげ)→学校



事前の学習で「普段、教室ではできない歴史や自然に関する体験をする、そして、グループ活動や交流を通して、友達との絆を深める」といった目標をもち、見学場所の下調べをして臨んだので、それぞれが自分のめあてに沿って、見学する姿が見られました。

1日目の佐賀の吉野ヶ里歴史公園では、弥生時代の遺跡を見て回り、古代の文化を学んでいました。また、筑前町の大刀洗平和記念館では、東洋一と謳われた軍用飛行場とその訓練施設で起きた空襲に

よる悲劇、数多くの特攻隊が出撃し、お国のためにと命を捧げた若き特攻隊員たちの記録を見て、昭和時代前期の悲しい歴史を学んでいました。

草千里ヶ浜では、壮大な風景を目の当たりにし、20分ほど自由時間を与えると、子どもたちは一目散に草原を遠くまで駆け巡っていました。また、ホテルへの移動中、放牧牛たちに遭遇すると、「わー牛だ。かわいい〜」と歓声をあげ、バスの窓にへばりつくように見ていました。そして、外輪山に沈みゆく夕日を見て、「きれいだね」とつぶやく声も聞かれました。これらの行動を見て、子どもたちの素直な反応と純真な心に、私も心洗われる気がしました。



草千里ヶ浜



ホテルでの夕食



買い物タイム

宿泊したホテルでも、集合時間には遅れることなく行動でき、一般の宿泊客に、「こんばんは」とあいさつをするなど、ホテルの方にもお褒めの言葉をいただきました。

(裏面へ続く)

2日目は、「あそもんツーリズム」と称して、阿蘇の特色や特産を学びながら、体験をする学習をしました。「だご汁づくり」「マイ箸づくり」「地元産原料を使ったクッキーやロールケーキづくり」「バラの花束づくりと草原学習館見学」「ガーデニングとこんにゃくづくり」「乗馬体験」に分かれて、各講師の指導を受けながら体験活動をしました。制作したものは持ち帰ることもでき、いいおみやげになりました。



ケーキづくり



だご汁づくり



マイ箸づくり



バラの花束づくり



ガーデニング



乗馬体験

全体的に見ると、小さな失敗はありましたが、概ね集団のルールやマナーを守って行動していました。また、2日間を通して天気に恵まれ、事故やけが、体調を悪くする子どもも出ず、旅行を存分に楽しむことができました。

バスの中では、ガイドさんがいなかったため、自分たちでレクレーションを計画し、各班による進行でゲームなどを行い、楽しく過ごしていました。まさに、自分たちでつくる修学旅行だったと思います。

修学旅行などの体験は、子どもたちを伸ばす大きなチャンスです。劇的に子どもが変わるということはないかもしれませんが、経験したことや指導を受けたことが、今後の行動規準にもなると思います。事後の学習を含めて、小さな失敗も大きな成功につなげ、6年生がこれからの学校生活、社会生活に生かしてくれることを期待しています。

よろしくお願いします！ 日曜授業参観・「楽校へ行こう」

新型コロナウイルス感染症のため、この2年間は中止していた標記の行事ですが、感染者が減少して落ち着きが見られ、イベントの制限も緩和されているということで、10月30日（日）は、日曜授業参観&「楽校へ行こう」を開催します。



授業参観では、平日には参加しにくい保護者の方も、ぜひお子さんたちの学習の様子を参観していただきたいと思います。その後の「楽校へ行こう」では、新型コロナウイルス対策をとりながら、2・4・6年生が、9つのコースに分かれて体験を行います。保護者の皆様にはお手数ですが、体験コースの同行をよろしくお願いします。